

食物アレルギーのワンちゃんへ

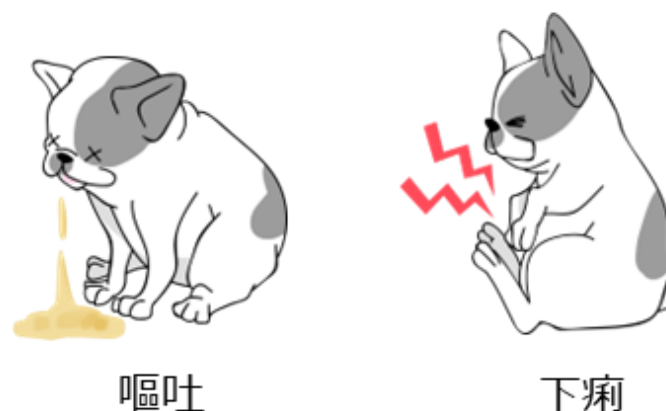
◆ 犬の食物アレルギー

食物が原因で皮膚にかゆみが出る子もいれば、嘔吐、下痢といった消化器症状が出る子もいます。季節に関係なく1年中症状があり、良くなったり悪くなったりを繰り返します。

皮膚のかゆみ



消化器症状



◆ 検査結果から分かること

ワンちゃんにとってアレルギーの原因となる食物、あるいは食べても大丈夫な食物が分かります。

※犬の食物アレルギーには2種類あり、リンパ球反応検査で分かるアレルギーとアレルギー特異的IgE検査で分かるアレルギーがあります。2つの検査はそれぞれ別のタイプのアレルギーを検出するため、検査結果は必ずしも一致しません。

検査結果の例

✖ : 食べたらダメ
○ : 食べても大丈夫

リンパ球反応検査		アレルギー特異的IgE検査	
鶏肉	✖	鶏肉	○
小麦	○	小麦	✖
大豆	✖	大豆	✖
サケ	○	サケ	○

2つの検査結果を見ると、アレルギーの原因は鶏肉、小麦、大豆ですね。

サケは食べても大丈夫なので、サケだけを使った療法食が良いでしょう。

◆ どんな治療をするの？

検査結果をもとに獣医師が食物アレルギー療法食（除去食）を選び、その除去食フードだけをワンちゃんに与えること（除去食療法の実施）が一番の治療になります。アレルギー症状を抑えるために、お薬による治療が必要となることもあります。



食物アレルギー療法食



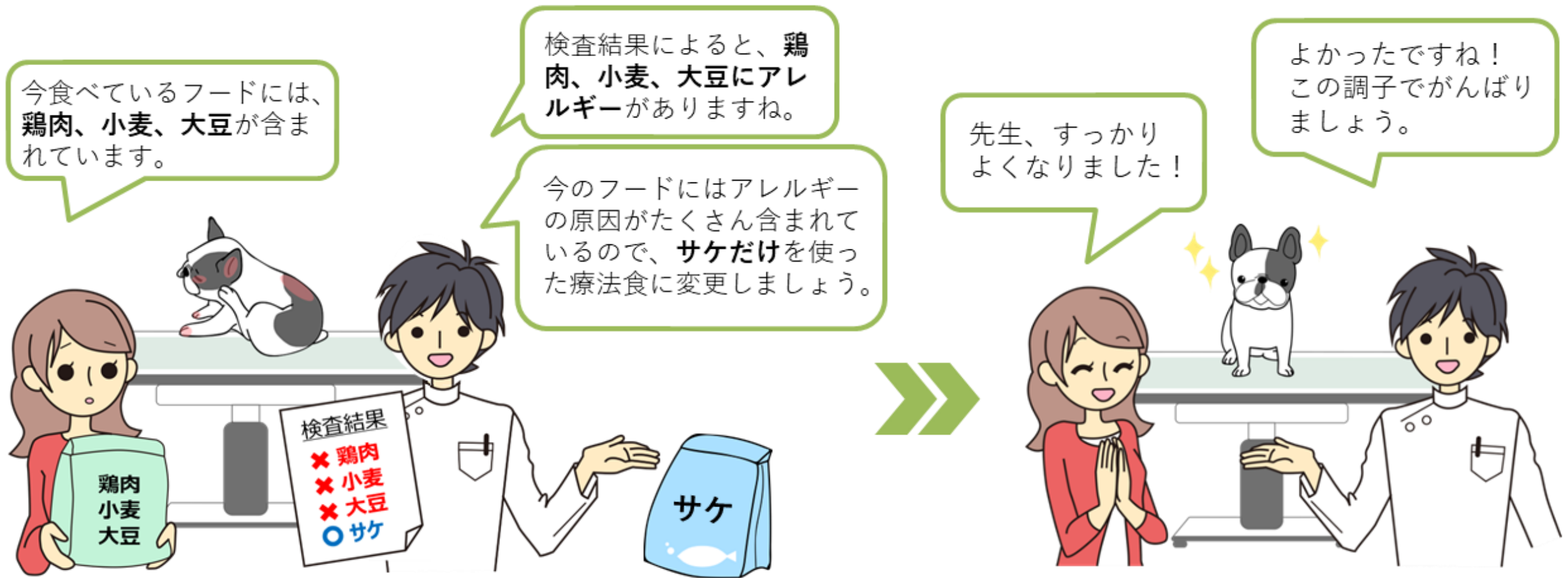
くすり



その他
(シャンプーなど)

食物アレルギー療法食ってなにがよいの？

一般的なドッグフードには多くの原材料が含まれているため、食物アレルギーの原因食物を完全に除去できない場合があります。食物アレルギー療法食は**原材料を限定し、アレルギーの原因食物を避けやすい**ように設計されているため、治療には**食物アレルギー療法食の使用が効果的**です。



除去食療法による治療を成功させるために大切なこと

除去食療法を成功させるために
飼い主さまへお願い

- ✓ おやつなど療法食以外の食物を食べさせないでください。
- ✓ 拾い食い、盗み食いをさせないでください。
- ✓ 他の食物を口にした場合は、必ず先生に伝えましょう。
- ✓ 定期検診を受けましょう。

食物アレルギーはコントロールが難しいため、獣医師と一緒に経過をみながら治療を進めることが大切です。良い状態を長く維持するために、症状が良くなっても定期的に動物病院を受診しましょう。